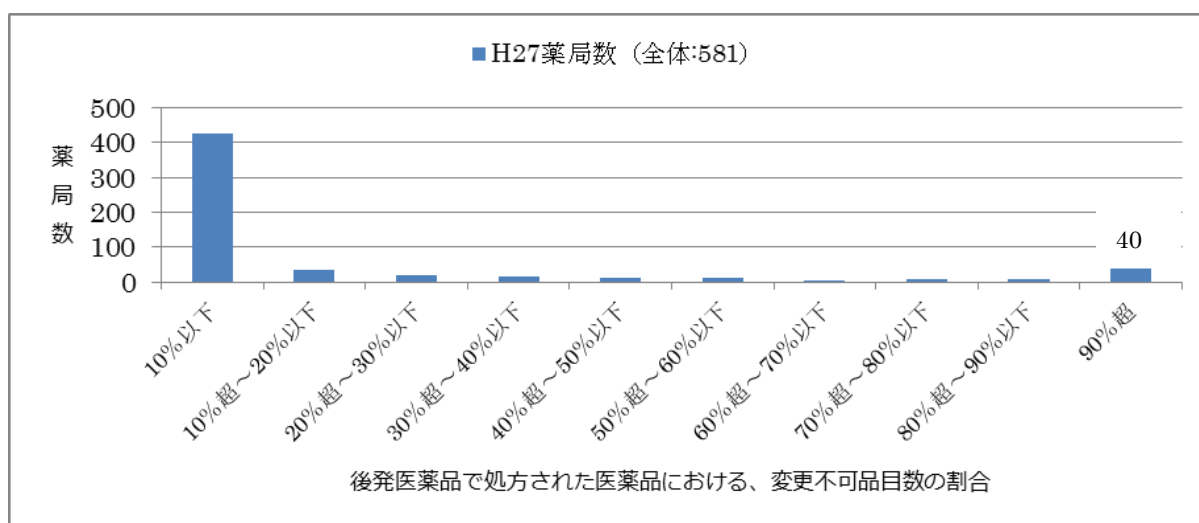


平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 27 年度調査）
後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査 結果概要（速報）（案）
《特別集計》

平成 27 年度調査において、後発医薬品で処方された医薬品のうち、変更不可となっている割合は 15.9%となっているが、変更不可品目数の割合別の施設分布をみると、90%を超える薬局が 40 施設（全体の約 7%）あった（図 1）。

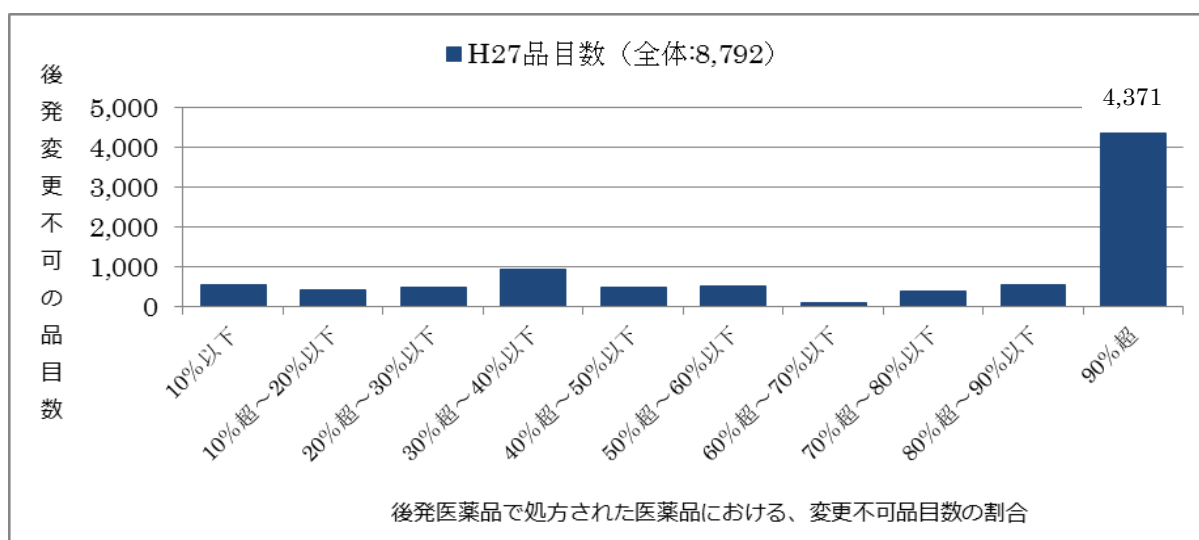
また、これらの施設だけで後発医薬品変更不可品目数全体の多くを占めていた（図 2）。

（図 1）後発医薬品変更不可の割合別の薬局数



（図 2）後発医薬品変更不可の割合薬局別の変更不可品目数

（※図 1 の薬局数を品目数にしたもの）

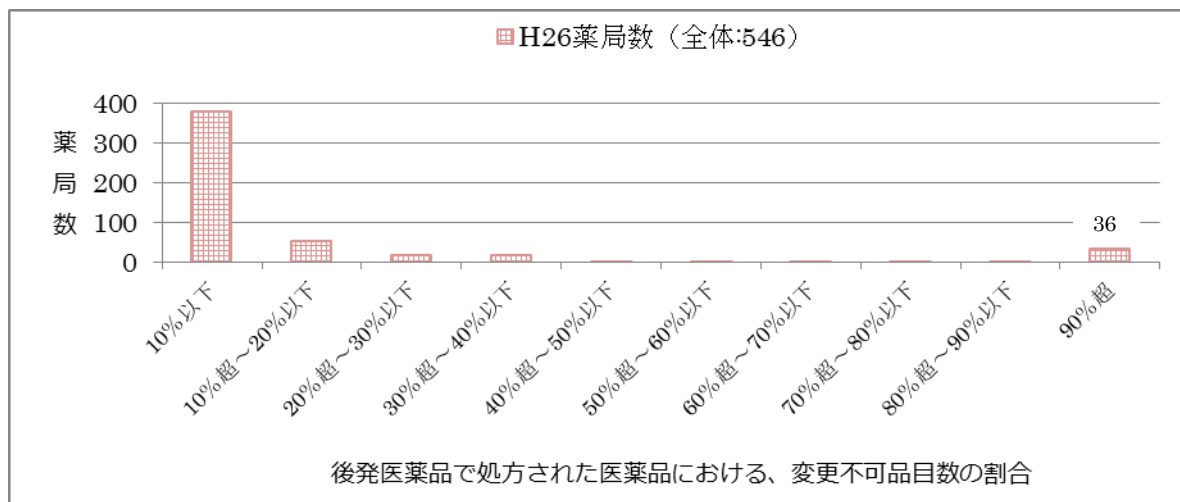


（参考）：H27 調査客体全体

薬局数	後発処方品目数	後発変更不可品目数
581	55,271	8,792

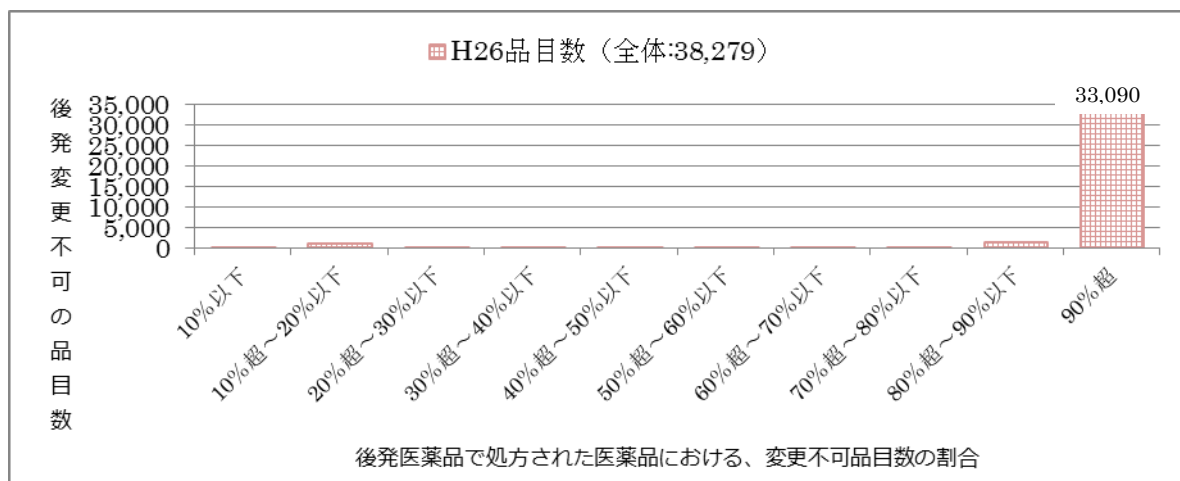
なお、平成 26 年度調査においても同様の傾向であり、一部の施設における後発変更不可の割合が全体の変更不可の割合に大きく影響していることが考えられる。

(図 3) 後発医薬品変更不可の割合別の薬局数



(図 4) 後発医薬品変更不可の割合薬局別の変更不可品目数

(※図 3 の薬局数を品目数にしたもの)



(参考) : H26 調査客体全体

薬局数	後発処方品目数	後発変更不可品目数
546	85,367	38,279